

令和8年度体力づくり推進計画 ＜全体計画＞

達成目標

○1日の運動時間が30分未満の児童の割合を20%以下にする。

学校の状況

- ・中学校と施設一体型の小中一貫校となって5年目を迎える。
- ・山間地にある児童81名の小規模校である。
- ・バス通学の児童の割合が高い。
- ・運動場が広く、グラウンドの周辺には登り棒や雲梯、滑り台、ブランコ、サッカーゴール等の施設がある。

児童の運動・生活習慣の実態

- ・バス通学の児童の割合が90%を超えており、運動不足の傾向がある。
- ・一日の運動時間が30分未満の児童が約30%で、体を動かす機会を逃している。

新体力テスト、アンケート調査等 調査結果との比較から

- ・男子
「シャトルラン」において県平均値を11.15ポイント上回っているものの、それ以外の種目で県平均値かつ全国平均値を下回っており、特に「ボール投げ」において県平均値を3.48ポイント下回っている
- ・女子
「長座体前屈」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」の4項目で県平均値かつ全国平均値を下回っている。特に「20mシャトルラン」においては県平均値を4.19ポイント下回っている。

実態把握

児童生徒の実態や新体力テスト等から 明らかになった課題

- ・体育の授業に肯定的な回答をした児童は3～6学年児童で98%であり、運動することに肯定的な回答等をした3～6学年児童は90%以上だったが、運動時間が30分未満の児童が28%だったことから、運動機会が体育以外で少ない。
- ・男女に共通して、多くの項目で県平均かつ全国平均値を下回っている。

取組事項

- 【体育の授業で行う取組】
 - ・授業の準備運動でサーキットトレーニングを継続して行う。グラウンドでは、遊具を使って走る以外の負荷をかけられるトレーニングに取り組むようにする。
 - ・学年に応じて、正しいフォームで準備運動を行ったり、ボールを使った準備運動を取り入れたりする。
- 【体育の授業以外で行う取組】
 - ・体育委員会を中心に、全校学年が交流できる様々な遊びを月1回の頻度で企画・運営し、外で遊ぶ機会を通して運動の楽しさを知る機会を設ける。また、全校なわとび週間を2週間開催し、運動強度の高い運動に親しむ機会を設ける。
 - ・球技交流会、陸上記録会や水泳記録会などを全校児童に向けて周知し、参加資格のない学年も練習への参加を促す。

期待される効果

- 主体的に運動に取り組もうとする児童の育成
- 運動やスポーツを仲間と協力して楽しもうとする児童の育成
- 集団遊びの機会の保障による、外遊びの機会の増加

体制

- ・体力づくり推進委員会（校長、教頭、体育主任・保健主事）を設置し、校務分掌部会「生徒指導部」を中心に推進していく。
- ・原則、年4回（4月・8月・12月・3月）の委員会を開催し、検討と改善をしていく。

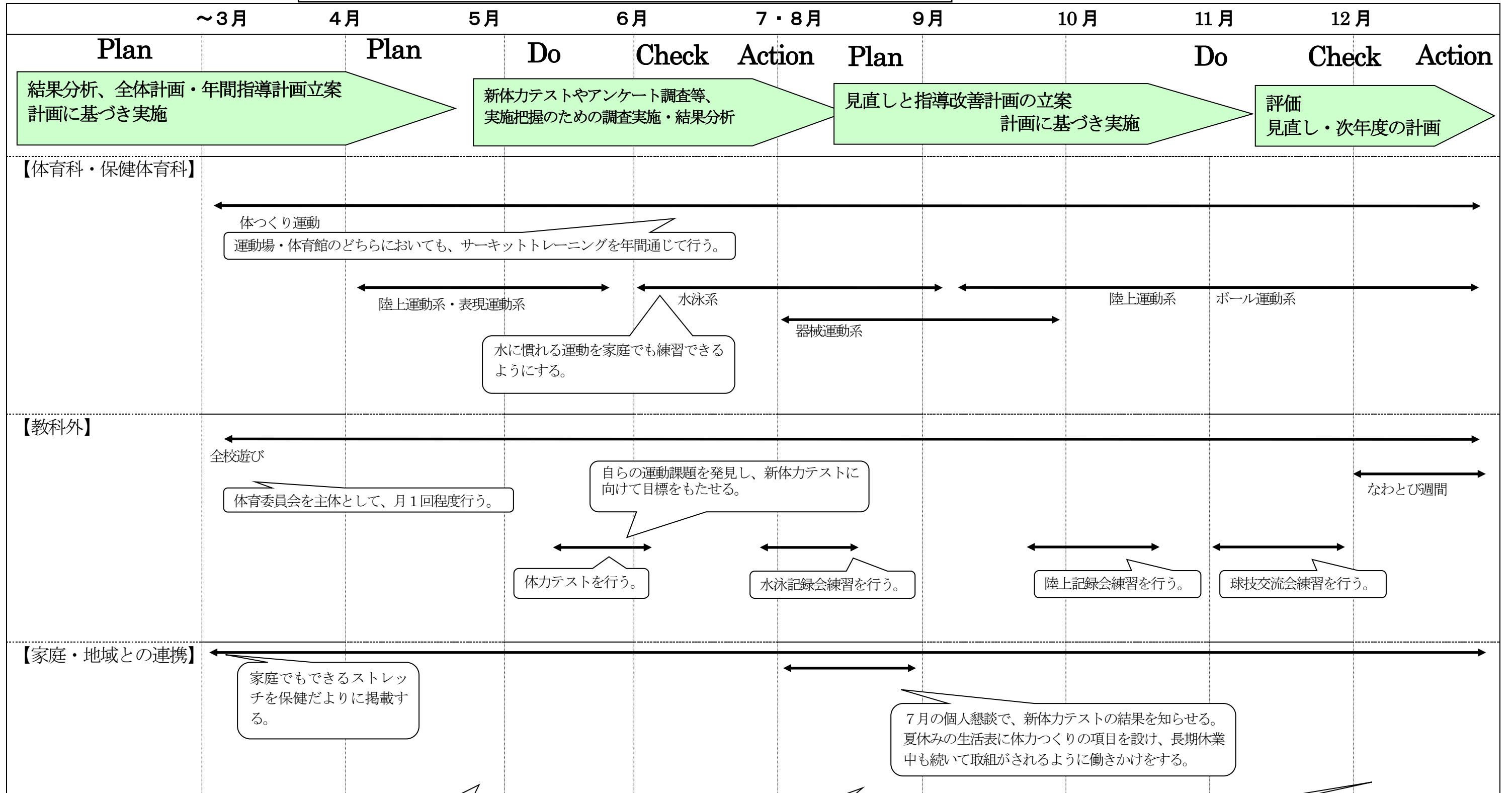
令和8年度体力づくり推進計画

<年間指導計画>

東広島市立福富小学校

達成目標

○体育の授業、授業以外で行う取組を通して、運動に親しみ、主体的に取り組むことができる



第1回体力づくり推進委員会 4/24 (金)
・R8年度 体力づくり推進計画について
・今年度の流れの確認 等

第2回体力づくり推進委員会 8/27 (月)
・今年度の取組について経過報告
・体力テストの結果 (校内分析) について

第3回体力づくり推進委員会 12/18 (金)
・HPにUP用の改善計画案
・今年度の取組について経過報告

第4回体力づくり推進委員会 3/19 (金)
・今年度の振り返りや来年度について (最終)